

同窓会

のチカラ

同窓会のための情報誌

2012

特集● 東日本大震災の中で

・ここは東北とともに／海が結ぶ絆／ 3.11 を越えて

リレー連載 ● 私と同窓会

紹介 ● 同窓会活動紹介

・北に一星あり：小樽商科大学 緑丘会

わが学び舎

・福島県立安積高等学校

ごあいさつ／ご案内

Our Proud

Vol. 4

福島県立安積高等学校／安積歴史博物館

旧福島県尋常中學校本館（明治 22 年竣工／木造 2 階建／国指定重要文化財〔建造物〕）

3

わが学び舎

福島県立安積高等学校安積桑野会

文武両道、質実剛健を掲げて

自由闊達の中に質実剛健を实践

沿革

福島県立安積高等学校は、明治十七年（一八八四年）九月、福島縣福島中學校として開校、明治二十年（一八八七年）福島縣尋常中學校と改称、明治二十二年（一八八九年）現在地に移転する。明治三十四年（一九〇一年）福島縣立安積中學校と改称。昭和二十三年（一九四八年）学制改革により福島県立安積高等学校となる。翌年「安積桑野会」として同窓会が発足する。昭和三十八年（一九六三年）から昭和四十八年（一九七三年）にかけて新校舎が建てられ、旧本館は福島県重要文化財に指定され、次いで昭和五十二年（一九七七年）国重要文化財に指定される。昭和五十九年（一九八四年）創立百周年記念事業として旧本館を「安積歴史博物館」として新たに開設、現在に至る。平成十三年（二〇〇二年）より男女共学となる。平成十三年（二〇〇一年）第七十三回・選抜高等学校野球大会に第一回目の「二十一世紀枠」出場校として出場する。

安積高等学校の精神は『開拓者精神・文武両道・質実剛健』にあり、教育の方針として『個性を伸長する・知性と情操と実践力を養う・自主自律の精神を養う・質実にして真摯な人物を養成する』ことを標榜している。自由な校風と伝統を守り、男女共学を期に服装も自由となるなど、各人の良識にまかせる自由闊達な校風でも知られる。



著名な卒業生の中には作家・文筆家が多く、古くは明治の文豪・高山樗牛、鈴木善太郎が、大正から今日にかけては久米正雄、中山義秀、玄侑宗久などがある。また天文学の新城新蔵、歴史学の朝河貫一、作曲家の湯浅譲二などを始めとして、学問・芸術・政治など、広い分野で多数の才能を輩出している。■

表紙写真・解説

安積歴史博物館
（旧福島縣尋常中學校本館）

福島縣尋常中學校本館として明治二十二年三月に建立された明治期の代表的な洋風建築で、二階建玄関付棧瓦葺木造の鹿鳴館風の建物である。

昭和五十二年（一九七七年）国重要文化財（建造物）に指定され、翌年、初期の姿を再現するために、文化庁の指導により半解体修理工事が行われた。創建から百二十余年、創建の場所に創建時そのまままで現在に残る全国唯一の文化財である。

二〇〇九年放映されたNHKドラマ「坂の上の雲」第一部のロケにも使われた。表紙に使用した写真は震災後のもの。■



▲震災前の講堂



▲震災前の安積歴史博物館／奥に安積高等学校が見える



安積桑野会（福島県立安積高等学校同窓会）
<http://www.asaka-kuwano.jp/>
 〒 963-8851 福島県郡山市開成 5-25-63
 福島県立安積高等学校内
 TEL (024) 922-4310(代) FAX (024) 931-5313



▲二階中央廊下。ほとんどの漆喰が剥がれ落ち、入ることはできない。



剥がれ落ちた階段の漆喰 ▶



▲震災前の安積歴史博物館

復興支援へのお願

安積歴史博物館は、二〇一一年三月十一日の東日本大震災により損壊し、現在復旧の調査・計画が進行しています。激しい揺れのために貴重なガラス窓が壊れたり、漆喰は剥げ落ちたりして、一時は足の踏み場もないほどでした。建物は国重要文化財に指定されていますので、所有管理する財団法人・安積歴史博物館としても勝手に修理することはできません。文化庁の指導のもと、復旧工事に入るわけですが、現在のところ復旧時期は見えておりません。

財団法人・安積歴史博物館は、県立安積高等学校やその卒業生の団体である同窓会・安積桑野会の支援を受けながら、これまで管理運営して参りましたが、今回の

震災による損壊の修理にあたっては国が一〇〇%費用を持つわけではなく、かなりの費用を所有者である財団法人・安積歴史博物館が負担しなければなりません。

こうした事情から、財団法人・安積歴史博物館では、同窓会はもとより広く一般の協力を仰ぎ、この歴史的遺産を後世に残すべく努力をしております。しかしながら普通の建造物とは異なることと、国重要文化財の指定を受けているため、当然のことながら文化庁の求める基準はハードルが高く、予算の捻出に苦慮しているというのが実態です。

このような状況をご理解の上、皆様のご支援をお願いする次第です。

●財団法人 安積歴史博物館

〒 963-8851 福島県郡山市開成 5-25-63
 TEL & FAX 024-938-0778

◎安積歴史博物館は東日本大震災により損壊したため、当分の間、休館いたします。

●震災復興寄附のお願い

博物館の復興のために、皆様のご協力をお願いいたします。

安積歴史博物館 震災復興寄付受付口座
 郵便払込取扱票= 02250-6-125793
 加入者・安積歴史博物館震災復興委員会
 ※なお、税制上の優遇措置は現在申請予定です。

安積歴史博物館の詳細はHPをご覧ください。
<http://asaka-kuwano.jp/hakubutukan/index.html>